

# 「分散型旅行」の普及・定着に向けて（分科会の提言抜粋）

別紙 1

## ○第9回新型コロナウイルス感染症対策分科会（9月11日）

「G o T o トラベル事業及び県を超えての人の移動についての分科会から政府への提言」

・「小規模分散型旅行」が普及するようなインセンティブをG O T O トラベル事業の中に組み込んで頂きたい。例えば、人の混雑のレベルにより割引率やクーポン発行量を調整するなど、いわゆる「ダイナミックプライシング」などの考えを取り入れて頂きたい。

## ○第10回新型コロナウイルス感染症対策分科会（9月25日）

「人の移動に関する分科会から政府への提言」

・旅そのものは人々にとって大きな楽しみの一つである。「新しい生活様式」に基づく旅のあり方としての「**小規模分散型旅行**」については分科会として提言を続けてきており、国としても推進に尽力をして頂いてきたとは考えている。しかし、先日の連休での混雑の状況などを考えると、「小規模分散型旅行」は未だ実現に至っていないと考えられる。

**『小規模分散型旅行』**を事業に組み込むことには事務的に困難が伴うかもしれないが、新しい時代にふさわしい旅のあり方が実現できるよう、**強力なインセンティブ**を伴う施策を打ち出して頂きたい。このことについて、**中長期的な視野を持ちながら、来るべき年末年始に備えて早急に対応をお願いしたい。**

## ○第12回新型コロナウイルス感染症対策分科会（10月23日）

「年末年始に関する分科会から政府への提言」

・政府におかれては、民間企業とも連携し、**「小規模分散型旅行」を推進**するなど、G O T O キャンペーン各事業の運用の在り方を含めて、**年末年始の人の流れが分散するよう努めて頂きたい。**

## ○第16回新型コロナウイルス感染症対策分科会（11月20日）

「分科会から政府への提言」

・これまでも分科会で提言してきた

①年末年始の休暇を分散すること

②**小規模分散型旅行を推進していくこと**

③財政面での支援を含む検査体制、保健所機能及び医療提供体制の強化

などについては、当然のことながら、これまで以上に推進していくことが必須である。